



寺ネット・サンガ通信 第9号

寺ネット・サンガ事務局 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階
Tel 03-5201-3976・Fax 03-5201-3712・メール info@teranetsamgha.com

中下代表のブログ から ～福島で必死に生きる人々の生の声～

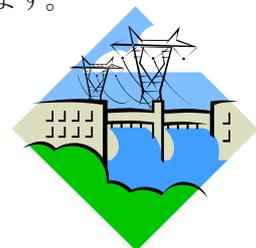


「中下大樹のブログ」（2013年7月3日）を編集

福島県民は約200万人。

その中で私が出会い、お話を聞かせていただいたのは、原発作業員の方も含めて、わずか数百名しかいません。その出会った方々の声を、ご本人の了解を得られた方のみ、ツイッターで発信しています。

私が聞かせて頂いた声は、福島県民のごく限られた声に過ぎません。しかし、その切実な声は、マスコミ上では、あまり伝えられていません。だったら、私が少しでもお伝えできたら・・・



6月下旬に聞かせて頂いた声の中で、反響の大きかったものをこのブログにも掲載します。福島で必死に生きる人々の生の声です。少しでも何かを感じていただけたらと思います。新聞やテレビでは聞こえてこない、本当の声があるかも・・・
先日訪れた福島第一原発の南側・楡葉町での慰霊祭。
亡くなって逝かれた方々を思い、静かに皆で合掌。

- ・福島県の仮設10代女性 「私の姉の母乳から、ストロンチウム90とセシウム137が出た。その事を人に言うとか不安を煽るな」と言って非難される。病院に行っても「心配しすぎだ」と言われる。私も姉も、どうして311直後、メディアや政府が言う「安心・安全」という言葉を信じてしまったんだろう」
- ・福島県の仮設30代男性 「福島から避難した人、避難したいけど出来ない人、福島に留まる人。それぞれ皆、考え抜いた末に、苦渋の決断をしている。だが、〇〇しないのはおかしい！間違っている！と、自分と考える違う人を排除し、叩き潰そうとする風潮が至る所に蔓延している。放射能より人間の方が怖い」
- ・大熊町出身・会津若松の仮設70代男性 「もう大熊町には帰れないって、国ははっきりと言って欲しい。俺達だって、薄々、分かっているんだ。仮の町を作るとか、早く国は決断して欲しい。被災者は皆、このまま仮設で中途半端に放置され、孤独に死んでいくしかないのか？俺達は、何か悪い事をしたのか？」

中下代表の新刊 「何があっても生きる—孤立・貧困・自死の連鎖を断つ」

玄秀盛・中下大樹共著 佼成出版社 定価1575円



たった一人を全力で救う男、玄秀盛 × 一人で死にゆく者を弔う僧、中下大樹。
生死の闇に対峙する二人が見た、被災地・差別・暴力・孤立死のリアルな現場。
繰り返される悲劇を直視し、なお生きることの意味を熱く語り合う。

坊コン会場 「ウイズビジネスプラット」

東京都中央区日本橋 3-3-3 山川ビル 5階

TEL (03)5201-3883

fax (03)5201-3712

http://www.wissquare-bc.com/access/index.html

5月13日(月)

プチ法話「一人で死ぬということ」 寺ネット・サンガ代表 中下大樹



孤立死が起こった部屋には経済的に余裕のない方が住むことになり、やがて地域全体のスラム化は広がり、社会全体の質の悪化＝地盤沈下を招くことになる。今後日本ではますます孤立死は増えていくことが予想される。直視したくない問題であると同時に、どうしても向き合わざるを得ない問題でもある。

坊コン談義「あなたの死に場所はどこですか？」

「今という時間を大切にしたい」「日頃の感謝を大切にしたい」「毎日に忙殺され、後悔する時間がなさそう」「後悔したっていいじゃない」「死から生をみる視点が重要である」「一人でじっくり死にたい」などたくさんの意見が出ました。

7月5日(金)

プチ法話「お骨の行方」 平塚市 浄土宗 浄信寺住職 吉田健一



お墓なんかいらぬという方は、かけがえのない「あなた」をそんなふうには扱えない人がいることを気づいていないのではないかと。亡き人と共有する場所「お墓」があることによって、私たちは大切な人を失った大きな悲しみを乗り越えることができる。お骨の行方を考える際には「その人のかけがえのない魂」に注目してほしい。

坊コン談義「『自分のお骨の行方』について考える」

「自分のことを思い出してくれる場所があったらいい」「亡き人と対話する場所は必要だと思う」「お墓は引き継ぐ人がいるかなど問題も多い」「お骨に関して、考え方に地域性があるようだ」「跡継ぎ問題が心配だが『墓友』などの新しい方法もある」

仏教ひとまわいツアー 第3段「尼僧さんといっしょに浄土めぐり」

「尼僧さんといっしょに浄土めぐり」の3回目。寅さんで有名な柴又帝釈天を訪ねました。

第11回 6月8日(土)

境内案内

日蓮宗 題経寺

帝釈堂でお開帳法要をいただいた後、日蓮宗僧侶 岡本亮伸さんのご案内で、彫刻ギャラリー・庭園「遼溪園」(すいけいえん)をゆっくりとお参りしました。



法話「ほとけの子」

柴又帝釈天付属ルンビニー幼稚園園長・日蓮宗僧侶 早崎淳晃

最近では、子どもたちに失敗をさせないようにと先回りしてしまう親が増えていきます。失敗する自分を受け入れられない子どもは、自分を立て直す術を知らずに育ち、大人になって困難に出遭った時くじけてしまいがちです。寅さんがいくら失敗しても「柴又」といういつでも帰る場所があるように、誰かが受け止めてくれることで、自分で自分を受け入れる「自尊感情」が育まれます。寅さんにとって柴又はまさに浄土ですね。

ワークショップ「弔辞を書く」

自分の人生を一番よく知っている自分自身の弔辞を書きます。自分自身を見つめ直す機会として弔辞を書き上げ、5、6人のグループで発表し合いました。照れながら書き、照れながら発表し合っていましたが、現在の自分を支えてくれている方々への感謝の気持ちが多く綴られていました。



仏教ひとまわりツアー 第4段「お骨の行方」

第4段は、散骨や樹木葬等「お骨の行方」にスポットを当てての寺めぐりです。

第12回 8月2日(金) 境内案内

浄土真宗本願寺派

築地本願寺



サンガ事務局員で浄土真宗本願寺派僧侶 松本智量さんに境内をご案内いただきました。明暦の大火・関東大震災等災害と共に歩んできた築地本願寺の歴史と本堂の荘厳さに感銘を受け、本堂階下の納骨堂をお参りました。

レクチャー「お骨になったら、どこに行く？」

消費生活コンサルタント 佐藤清美

個人墓・合祀墓・納骨堂・本山納骨・永代供養墓など納骨の形式から、樹木葬・海洋散骨・宇宙葬など自然に還る形式、手元供養・お骨のダイヤモンド加工・ハイテク機械式納骨堂など最新のお骨事情について解説していただきました。粉骨の体験や海上散骨の実際の様子など貴重なお話も伺うことができました。

「お骨の行方」意見交換

- ・遺骨をどうしようかと物理的な処理ばかりを考えないでほしい。
- ・故人の遺志に振り回されすぎて、お骨に宿る魂の行方や信仰に基づく供養の本質を見失っていないか？
- ・遺された人の心情を思いやることも大切。

第13回 9月1日(日)

日蓮宗 延寿院



法話「東京里山墓苑」

日蓮宗 延寿院住職 及川一晋

安価な外材輸入の影響で里山は放置され荒れた山地を、樹木葬墓地として整備することで人も遺骨として自然の中で循環していく新しいお墓になりました。人々の願いに寄り添うスタンスで、お墓の継承問題、孤立死問題など社会的な背景も考えて「東京里山墓苑」を設立し今に至っています。

「東京里山墓苑」案内

巖（いわお）のモニュメントと山桜の下には合祀墓「森羅」（しんら）があります。多摩産の木材でつくられた骨壺「木魂」にお骨を入れて埋葬する個人墓「花暦」（はなごよみ）の区画には、生態系に配慮しながら桜を中心に季節の花や樹木が植えられています。同じく多摩産材の小さな卵型の手元供養容器もあります。自然と人との関係を感じ、いのちのつながりを感じる墓苑です。

「樹木葬について」意見交換

- ・樹木葬、海への散骨など自然葬は、古来日本人が行なっていた風習だ。
- ・「家制度」を前提にしたお墓の形式は時代にそぐわなくなっている。
- ・お墓は商品ではない。そこに信仰心や御魂を感じてほしい。

第14回の予定 平成25年11月9日(土) 東京都府中市紅葉丘2-4-1-3 浄土宗 蓮實寺



蓮實寺副住職 小川有閑さんのご案内で「多磨霊園」を参拝しながら、巨大公営霊園墓地の事情を学びます。また、無縁墓地に埋葬される方々に思いをはせ、法要を営みます。

「お骨の行方」を追いながら、現代社会の縮図として巨大霊園の在り方を見つめ、魂の行方についても考えてみませんか。

お誘いあわせお申し込みください。

中下大樹プレゼンツ

中下代表が個人的に企画したイベントのご案内です。サンガ会員の皆様は奮ってご参加ください。今後も「死生観光プロジェクト」「プチ坐禅会」「被災地視察ツアー」などさまざまな企画を中下プレゼンツとしてご案内する予定です。

①「死生観光プロジェクト」 吉原・泪橋周辺散策ツアー

JR南千住駅近くにある、あしたのジョーで有名な「泪橋」、吉原の遊女が死後、投げ込まれたという三ノ輪駅近くにある浄閑寺、関東大震災で吉原遊女が多数、溺死したとされる吉原観音を訪問します。

吉原・泪橋という名前は聞いたことがあっても、実際に足を踏み入れたことのある人は、まだまだ少数かもしれません。自分の目で現地を見て、先人たちの思いに触れ、歴史を感じてみませんか？

- 日時 10月26日（土曜日）13時にJR南千住駅西口・ローソン前に集合
南千住駅から「首切り地蔵・史跡小塚原刑場跡」でもある延命寺、その隣にあると回向院を訪問後、三ノ輪駅の浄閑寺を經由して、吉原観音を訪問。
※歩きやすい靴や服装でお越しください。16時頃解散予定
※17時頃より、吉原周辺で懇親会を開催(参加者は別途3000円)。
- 参加費 1000円（集合時に一括して集めます）
- 募集 10名（先着順 定員になり次第締め切ります）



②「プチ坐禅会」のお知らせ ※出会いを求める独身男性・独身女性限定！

坐禅なんかしたことがない！というアナタでも、もちろん大丈夫。専門家が親切に指導します。

坐禅を通じて忙しい毎日を見つめ直し、ココロとカラダをリフレッシュしてみませんか？

女性の美は坐禅から。目指せ坐禅美人！男性は自己鍛錬の場として！

坐禅会場は、JR日暮里駅南口徒歩5分の場所にある擇木（たくぼく）道場。

坐禅会終了後は、JR日暮里駅前の居酒屋で、独身男性・独身女性限定で懇親会を開催します。

- 日時 10月19日（土曜日）16時 JR日暮里駅南口集合
・17時～18時30分まで擇木道場にて坐禅、歓談
・19時過ぎから日暮里駅前の居酒屋で懇親会（21時頃まで）
- 会場 JR日暮里駅南口徒歩5分 「擇木道場」（たくぼくどうじょう）
- 参加費 坐禅のみ参加 1000円・懇親会参加者は別途3000円（集合時に集めます）
- 募集 独身男性5名・独身女性5名（先着順 定員になり次第締め切ります）
※男女間のトラブル等が発生した場合、当団体は一切責任を負えません。
各自、自己責任としますので承いただける方のみお申込み下さい。
※坐禅のみ参加希望の方は、独身・既婚・男女問わず参加できます。
- 服装 坐禅をしやすい服装（ジャージ等）を各自、ご持参下さい。



③「被災地視察ツアー」 福島日帰りツアー 企画中

☆参加申し込み

メール nakashita@athena.ocn.ne.jp （お名前・懇親会の参加の有無を明記してください）

メールを頂き次第、折り返し、当日の詳細を明記した上で、お返事を差し上げます。